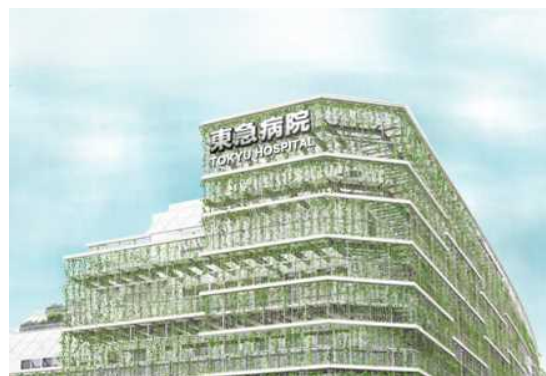


東京急行電鉄株式会社 東急病院

住所：〒145-0062 東京都大田区北千束 3-27-2

TEL：03-3718-3331(代)

HP：[http:// www.tokyu-hospital.jp/](http://www.tokyu-hospital.jp/)



リハビリテーション科医師(2019年6月現在)

責任者：リハビリテーション科医長・専門医・指導医 辰濃尚(慈恵 H8 卒)

総病床数：135 床，リハ科病床：6 床（地域包括ケア病棟），診療科：14 科

理学療法士 11 名，作業療法士 5 名，言語聴覚士 1 名



責任者からのコメント

当院は、東京急行電鉄株式会社の企業立病院です。電鉄会社ということもあり、沿線の地域住民が安心して生活できるように、「やすらぎと信頼を目指して」をモットーに医療を行っています。また、慈恵医大の関連病院であり、他科の医師も慈恵出身者が多く、各科との連携も非常に良く取れ、いろいろな科の知識も得ることができます。特に、当院では慢性腎臓病患者の血液透析には力を入れており、回復期リハビリテーション病棟には、あまり受け入れられない透析患者のリハビリテーションが実践できます。

研修病院としての特徴

1. 地域包括ケア病棟

地域住民が安心して生活できるように、急性期病棟と地域包括ケア病棟を運営し、急性期のリハビリテーションはもちろん、急性期治療が終了したのちには地域包括ケア病棟でリハビリテーションや退院に向けての在宅準備などを行い、退院できるような体制作りをしています。急性期から回復期まで一連のリハビリテーションの流れ、自宅退院に向けての社会的資源の利用などリハビリテーション医療における様々な知識を身に着けることができます。

2. リハビリテーション チーム医療の充実

リハビリテーション医学の遂行には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をはじめ、主治医，看護師，ソーシャルワーカーといった関連職種との連携が必須であり，それぞれの専門的知識も知る必要があります。当院でも、リハビリテーション科医師が主軸となり内科系入院患者、整形外科入院患者などのカンファレンスを定期的を開催しております。また、院内の勉強会なども定期的を開催し、院内のリハビリテーションの啓蒙なども行っております。

3. 健康ステーション大岡山構想

東京急行電鉄株式会社は、国から 4 年連続で健康経営銘柄の表彰を受けています。その一環として、病院がある大岡山駅は健康ステーション大岡山として、地域住民の健康増進を図る取り組みを行っています。リハビリテーション科でもこれに参加しております。近隣の東京工業大学の学園祭に参加し、体力測定ブースを運営したり、大岡山駅の階段に標語を掲載し、健康増進のために階段を使用する呼びかけをしたりと様々な取り組みをしています。

最後に

当院では、急性期から自宅退院まで一貫したリハビリテーションを提供することができます。地域包括ケアシステムの中でのリハビリテーション医療と一緒に実践しましょう。

東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座